

新社長就任ご挨拶



この度関係各位のご高配を賜り、代表取締役役に就任いたしました澤元薫です。私が宮大工になりたいと思ったのは中学生のときです。先代社長である父親の仕事に対する情熱や夢を語る姿を見ているうちに宮大工の素晴らしさを感じるようになりました。そして高校卒業後の進路は何の迷いもなく、宮大工になって天峰建設を継ぐという決意で東大阪市

にある(株)鳥羽瀬社寺建築の親方に弟子入りをしました。

そこでの六年間はとても貴重な経験をさせて頂きました。国宝や国指定重要文化財の寺院、神社、民家などの建物に携わることができました。昔の建物に携わること、なぜ木造建築が何百年と持つのか、当時の宮大工の建築技法を実際に見ることで感じることができました。また技術的なことだけではなく、仕事の厳しさや楽しさも先輩達から教えてもらい社会人としての在り方なども学ぶことができました。

天峰建設に入社してからは菊川市の本堂の棟梁を務め、その後現場監督として仕事に携わること、お客様と話す機会が増え、お客様が求めているものを形にする為に現場をまとめ管理していくことの大切さや仕事に対する責任感がより一層強くなりました。今後は宮大工として日本の伝統・文化を世界に発信していきたいと考えています。昨年末には日本の「伝統建築工匠の技」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。社寺建築に多く携わってきた弊社の技術もまた、世界に誇

れるものだとは確信しています。世界的に注目された今、私たちも世界に目をむけていくことで、後世を担う子ども達が憧れるような宮大工となり、それが伝統や技術の後世への継承につながると思います。

一方で、今まで以上にお客様との良縁を大切にし、創業四〇年を超える弊社の経験と技術で、お客様や時代に寄り添うことができる会社作りをしていきます。お客様の歴史に天峰建設という名が残っていくことに、より一層自覚をもち「天峰建設で建ててよかった」と喜んでい頂けるよう社員一同協力して参ります。

お客様や協力業者とのこれまでの良縁を大切にし、これからのご縁を愉しみながら人をつくり人を残し、そしてより良い会社づくりができるよう精進してまいります。

今後とも皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和三年四月

株式会社天峰建設

代表取締役 澤元薫